

Jークレジット制度
プロジェクト計画書
（森林管理プロジェクト用）

福井市有林における Jークレジット創出事業

プロジェクト 実施者名	福井市
----------------	-----

妥当性確認申請日 平成28年12月13日

プロジェクト登録申請日 平成29年2月22日

1 プロジェクト実施者の情報

1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がある場合は代表実施者）

実施者名	(フリガナ) フクイシ
	福井市
住所	福井県福井市大手3丁目10-1

1.2 プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者 ※1

実施者名	(フリガナ)
住所	

※1 複数のプロジェクト実施者が参加する場合には、欄をコピーしてそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載すること。

1.3 J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ)
	未定
住所	

※1 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2~4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

2 プロジェクト概要

2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	福井市有林における J-クレジット創出事業	
目的	J-クレジットによる収入は木育や林業の担い手育成等に使用することで、木材の有効利用・地域の雇用創出に繋げる。	
概要	本計画では、実施済みの 19.95ha に加え、森林経営計画期間に実施予定の森林施業について、クレジット化を行うものである。	
プロジェクト実施場所	市町村	福井市
	場所 ※1	大丹生町 102 字 3 および 5 養町 29 字 3-2 および 4-1 宮郷町 24 字 8-1、8-2、9-1、9-2、10、11-1、11-2、12-1、12-2、12-3 宮郷町 25 字 2-1、3-1、3-2、4-1、4-2、4-3、5-1、5-2、5-3 免鳥町 42 字 1-1

※1 「○林班～○林班」、「○○事業区」等と記載するとともに、森林計画図等の図面を添付する。

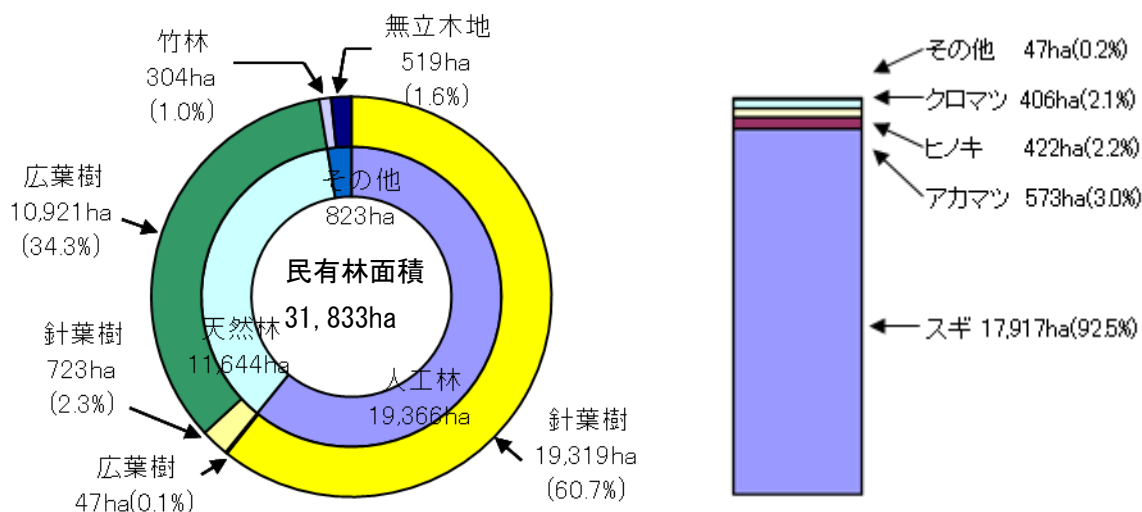
2.2 プロジェクト実施前後の状況

(プロジェクト実施前のプロジェクト実施地の状況※1)：

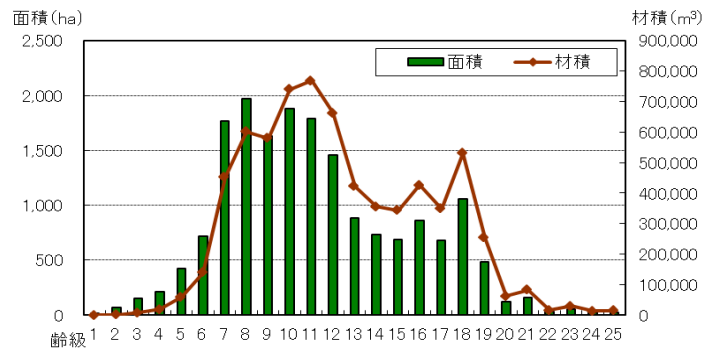
【森林の現状】(平成 25 年時点)

本市の総面積は 53,617ha、内森林面積は 31,910 で総面積の 59.5%を森林が占めている。

本市の森林のうち民有林面積は 31,833ha で、総森林面積の 99.8%を占めている。スギを主体とした人工林面積は 19,366ha と民有林面積の 6 割を占めている。



本市の人工林のうち、除間伐実施の対象である 11～80 年生（3～16 齢級）のスギ人工林は 15,183ha（8割）となっている。



【福井市森林経営計画森林の現状】（平成 25 年時点）

福井市森林経営計画における人工林の現状（間伐対象）

樹種	項目	齢級																		合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
スギ	面積(ha)	2.45	2.82	2.31	11.51	76.60	34.23	1.55	4.07	1.05	1.83	5.53	2.25	10.16	1.49	2.83	0.26	0.41	0.04	161.39
	材積(m3)	509	830	454	2862	24309	11648	616	1688	465	872	2722	1090	4832	770	1434	138	219	103	55561
ヒノキ	面積(ha)		1.32	0.02																1.34
	材積(m3)		136	3																139
マツ	面積(ha)					1.50		0.99		5.90		3.44		2.77					14.60	
	材積(m3)					230		213		2460		729		1076					4708	
合計	面積(ha)	2.45	4.14	2.33	11.51	78.10	34.23	2.54	4.07	6.95	1.83	8.97	2.25	12.93	1.49	2.83	0.26	0.41	0.04	177.33
	材積(m3)	509	966	457	2862	24539	11648	829	1688	2925	872	3451	1090	5908	770	1434	138	219	103	60408

プロジェクト対象林の現状

樹種	項目	齢級																		合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
スギ	面積(ha)	1.20	2.30			4.64	19.92		0.28		0.58								28.92	
	材積(m3)	390	748			1410	6482		122		279								9431	
ヒノキ	面積(ha)																		0.00	
	材積(m3)																		0	
マツ	面積(ha)																		0.00	
	材積(m3)																		0	
合計	面積(ha)	1.20	2.30			4.64	19.92		0.28		0.58								28.92	
	材積(m3)	390	748			1410	6482		122		279								9431	

（プロジェクト実施後のプロジェクト実施地の状況 ※2）：

主伐の標準伐期はスギ 40 年、ヒノキ 45 年とするが、森林の諸条件に応じ、長伐期化、針広混交林化を図っていく。

標準的な間伐の間隔は、標準伐期未満の森林については 15 年、標準伐期を越える森林については 20 年を概ねの目安とする。間伐率については、地位・林齢等により 10%～36%を目標とし、定性間伐を実施する。

※2 対象林において、森林経営計画又は森林施業計画に基づいた施業の方針について、主伐実施時期、間伐実施間隔、植栽樹種、定量／定性間伐の区分、間伐率等の内容を、数値を用いて具体的に説明すること。また、林分が多数にわたる場合には、総括表を記載したうえで、森林簿、森林施業計画書又は森林経営計画書から上記情報が含まれている部分の写しを添付しても良い。

2.3 プロジェクト要件への適合

プロジェクトの実施日 ※1	■2013年4月以降に実施されたプロジェクトである □2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、オフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※2
追加性	■追加性を有している ※3

※1 「プロジェクトの実施日」とは、森林経営計画又は森林施業計画に基づく適切な施業又は森林の保護（森林の巡視等を含む）を実施した日を指す。

※2 【FO-002（植林活動）について】 オフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「2013年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。

※3 【FO-001（森林経営活動）について】 追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.1）に示すこと。

3 方法論

3.1 適用方法論

適用する方法論	方法論番号	FO-001 ver.2.1
	方法論名称	森林経営活動

3.2 方法論の適用条件への適合

条件 1	■ 適合している	森林法第 5 条の森林である。
条件 2 ※1	■ 適合している	福井市森林経営計画に認定されている森林である。 認定者（福井市） 認定番号(201-25-101)、認定期間(H25.6.1-H30.5.31)
条件 3 ※2	■ 適合している	主伐の予定は無い
条件 4	■ 適合している	間伐を予定している
条件 5	■ 適合している	土地転用の予定は無い

※1 【FO-001（森林経営活動）について】算定対象とする施業が含まれる全ての森林経営計画又は森林施業計画の認定番号及びその認定期間を記載すること。

※2 【FO-002（植林活動）について】算定対象とする施業が含まれる全ての森林経営計画又は森林施業計画の認定番号及びその認定期間を記載すること。計画が認定されていない場合は、モニタリング報告書に記載すること。

3.3 モニタリング・算定方法

プロジェクト実施後吸収量		
主要／付随的	吸収活動	温室効果ガスの種類
主要	地上部バイオマス蓄積	CO2
主要	地下部バイオマス蓄積	CO2

プロジェクト実施後排出量		
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類
主要	該当なし	CO2
主要	該当なし	CO2

4 吸収計画

認証対象期間 ※1	2016年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日 (8年 0ヶ月)				
吸収計画※2	年度	ベースライン 吸収量	プロジェクト 実施後吸収量	プロジェクト 実施後排出量	吸収量
	2013年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2014年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2015年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2016年度	0 t-CO2	75.4 t-CO2	0 t-CO2	75 t-CO2
	2017年度	0 t-CO2	119.1 t-CO2	0 t-CO2	119 t-CO2
	2018年度	0 t-CO2	117 t-CO2	0 t-CO2	117 t-CO2
	2019年度	0 t-CO2	117 t-CO2	0 t-CO2	117 t-CO2
	2020年度	0 t-CO2	101.7 t-CO2	0 t-CO2	101 t-CO2
	2021年度	0 t-CO2	101.7 t-CO2	0 t-CO2	101 t-CO2
	2022年度	0 t-CO2	96.4 t-CO2	0 t-CO2	96 t-CO2
	2023年度	0 t-CO2	93.6 t-CO2	0 t-CO2	93 t-CO2
	2024年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2025年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2026年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2027年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2028年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2029年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	2030年度	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	合計	0 t-CO2	821.9 t-CO2	0 t-CO2	819 t-CO2

※1 認証対象期間は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日から、同日より8年を経過する日若しくは2031年3月31日のいずれか早い日までの間で設定すること。

※2 吸収量の算定方法については、別紙A.2に記載すること。

5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、Jークレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

5.1 モニタリング体制

データ管理責任者 ※1	福井市役所 農林水産部 林業水産課 課長
モニタリング担当者 ※1	福井市役所 農林水産部 林業水産課 林業振興係

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

5.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	<ul style="list-style-type: none">・地位特定に用いた調査結果を保管する。・施業の実施報告書を所定の様式に基づき保管する。 上記データは福井市公文書管理規定に基づき管理する。・モニタリング方法は調査開始前に担当職員全員と打合せを行い、実施方法について共有を図る。・内部監査はモニタリング方法・吸収量の算定が所定の基準に沿って行われているかについて、農林水産部林業水産課主任が実施する。
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後 <u>10</u> 年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。その際、森林管理のための巡視を行う体制を明記すること（森林の巡視とは、一般的に、森林の保全管理及び森林の産物の盗採、林野火災等の森林被害の防止及び発見のために、定期的及び必要に応じ森林において行うもの）。

※2 原則認証対象期間終了後 10年間とする。

6 特記事項

6.1 吸収量に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

吸収量に影響を与える可能性のあるリスクがあるか <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

※1 プロジェクト排出量が増加し、プロジェクト吸収量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	台風・集中豪雨・豪雪などの気象災害による影響が考えられる。主伐等の大規模伐採を避け、災害の引き金となる要因を作らないよう努める。

6.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。 <input type="checkbox"/> 登録している (類似制度名： _____) 類似制度での認証予定期間： _____) <input checked="" type="checkbox"/> 登録していない
--

6.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものではない。 <input type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものである。
--

6.4 認証対象期間の設定について

認証対象期間の前後の年度に、主伐の実績又は計画はないか。 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合、認証対象期間は、クレジットを過大に発生させる目的で、主伐の時期を意図的に避けて設定していないか。 <input type="checkbox"/> 意図的に避けたものではない (設定の考え方： _____) (例) 森林経営計画の計画期間を認証対象期間としている
--